

《課題名》

小児 ^{99m}Tc -DMSA シンチグラフィ検査における収集条件の最適化に関する研究

《研究対象者》

2014年1月1日～2019年9月1日の期間内に滋賀医科大学附属病院放射線部において ^{99m}Tc -DMSA シンチグラフィ検査を施行された小児患者(0歳～20歳)の方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方又はその保護者の方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加(試料・情報提供)を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：小児 ^{99m}Tc -DMSA シンチグラフィ検査における収集条件の最適化に関する研究

研究期間：承認日(2020年02月18日)～2020年9月1日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》放射線部 《氏名》大橋昂平

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

核医学検査で得られる画像の画質は放射性医薬品投与量や収集条件(収集時間等)に大きく影響を受けます。これらの設定が十分でないと診断能を著しく低下させることにつながる恐れがあります。特に小児における検査では、成人に比べ投与量が少ないことからその収集条件は慎重に決定する必要があります。放射線医薬品の投与量に関してはガイドラインによりある程度最適化・標準化がなされていますが、収集条件に関しては最適化に関する検討の余地が残るところが現状であります。本研究の目的は小児 ^{99m}Tc -DMSA シンチグラフィ検査における最適な収集条件を検討することであり、本研究の成果によって最適な収集条件が明らかになると共に国内における同検査の標準化に資する情報となりうると考えています。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

・研究の内容

5分間かけて収集した ^{99m}Tc -DMSA シンチグラフィ画像に対して、視覚評価・物理評価を行い最適な収集条件を検討します。

・利用する試料や情報等の項目

- ・背景情報：年齢、性別
- ・身体情報：体重
- ・検査情報： ^{99m}Tc -DMSA シンチグラフィ画像、放射線医薬品投与量

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその保護者の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には(2020年9月1日までに)、下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 放射線部 大橋昂平

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2714

メールアドレス：kohashi@belle.shiga-med.ac.jp